

千葉市議会議員

# 亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2019年冬の便り号 (通算第43号)

自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173

事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108

ホームページは **亀井たくま** で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.ne.jp

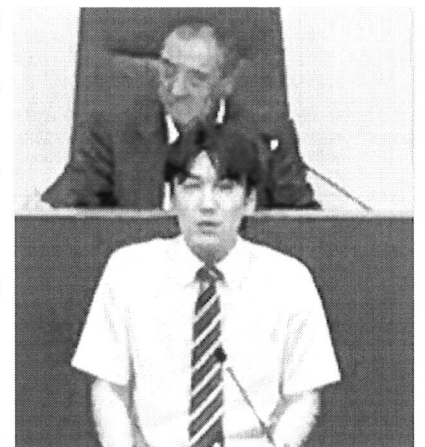


**台風・大雨被害に心よりお見舞い申し上げます。  
防災・減災対策に今後も全力を尽くします!**

皆様、いつも市政へのご理解・ご協力をありがとうございます! 9月以降、本市でも台風15号・19号・21号で多くの市民の皆様が被災されました。心よりお見舞いを申し上げます。災害発災直後の9月定例議会において、亀井たくまは10月3日に議会質問に登壇し、台風15号への対応・今後の災害対策に関する質問・提案にも取り組んでまいりました。今回も内容を抜粋・要約してお届けいたします。今後の議会でも「防災対策の充実」に取り組む決意です。多くの方々が1日も早く元の生活に戻れるように、今こそ皆でできることを頑張っていきましょう!

## 災害対策・避難所の充実、指定管理者制度について

- Q 平成30年度より、公民館に指定管理者制度が導入されたが、これまでの評価は。老朽化対策や市民サービス向上を。
- A 公民館への指定管理者導入により、開催講座の増加、図書室の書籍の充実、机・イス・畳の新調など施設の修繕が進んだほか、Wi-Fiの導入、社会教育主事の増員など、市民サービスの向上に努めている。現在、老朽化対策、空調設備や電気設備の改修、トイレの洋式化、バリアフリー化に取り組んでおり、今後も市民サービス向上に努めてまいりたい。
- Q 今回の台風15号では、「公民館」が避難所として果たした役割は大きかったが、どのような実態であったか。避難所としての公民館の機能充実を。
- A 台風15号の対応では、エアコン・和室がある公民館を避難所として開設し、38か所の公民館に390名が避難した。公民館では食料・飲料水・毛布・携帯トイレなどの備蓄品を整備しており、避難者に食料や飲料水を配布した。停電のために避難者を受け入れられなかった公民館もあったことから、今後、停電対策をはじめ、公民館の防災機能強化に努めていく。
- Q 公の施設の管理・運営を民間団体が請け負う「指定管理者制度」が、本市でも多くの施設で導入されている。「市民サービス向上」と「管理費縮減」の効果や評価は。
- A 現在、市内の公共施設155施設を指定管理者が運営している。制度を導入した97施設の管理費は導入前と比べ、3億3千万円の経費削減が認められた。また、施設の「開館時間の延長」「利用料金の引き下げ」など市民サービス向上にもつながっていると認識している。
- Q 指定管理者制度導入で市民サービスは向上しているが、「管理費縮減」のもとに、働く労働者の賃金の低廉化や労働条件の低迷につながっていないか。働く人の雇用・賃金・労働条件の底上げの支援を。
- A 指定管理者の募集・選考時に労働法令の遵守、労働条件確保の取り組みなどの評価を行い、指定管理後も年複数回のモニタリング調査を行い、指導を行っている。今年度からは新たに、「社会保険労務士による労働条件審査」を実施し、労働条件の確保、労働環境の向上の取り組みを進める。



Q 横浜市では、「賃金水準スライド制度」を導入して、民間等の賃金の上昇に合わせて、指定管理者のもとで働く労働者の賃金も着実に上昇させ、労働者の賃金や雇用の安定、指定管理者の経営・運営の安定を目指している。本市でも働く人の待遇改善のため、この制度を導入してはどうか。

A 今後、横浜市での導入効果など実績を見ていく。

### 亀井はこう考える！ 台風被害を教訓に避難所の充実と災害対策強化を！！

今回の台風15号、19号、21号による大雨被害に対しまして、あらためて心よりお見舞いを申し上げます。私自身も災害発生直後より、地域の皆様からの電話対応や地域巡回、被災家屋の後片付けなどに追われ続けた2か月間でした。今回の災害では、地域の公民館が避難所として果たした役割は大きく、多くの方が避難をされました。今後、台風やゲリラ豪雨などの災害はますます大規模化が予測されています。公民館や小中学校の避難所としての機能の充実、地域の避難所運営委員会の強化・支援に今後も取り組んでまいります。

また、現在、公民館には指定管理者制度が導入され、施設・備品の充実や市民サービスの向上、老朽化対策に努めています。今後もさらなる住民サービスの向上を求めてまいります。

このほか、「指定管理者制度」で働く方々の賃金や待遇改善についても質問をしました。「指定管理者制度」はそれまで市役所が直接運営していた施設を民間企業や民間団体に委託する制度です。市にとっては「市民サービスの向上」「人件費の削減」というメリットがありますが、そこで働く方々は非正規労働者が多く、最低賃金に近い状況で働いている方、年収200万以下で働いている方も存在しています。市民のために、本市のために働いている方々が少しでも安心して働くことができる環境(そのことは税収増や地域経済の活性化にもつながります)を求めました。

## 中溝排水路（祐光・道場北）の改善について

Q 今回の台風災害をはじめ、これまでの想定を超えるゲリラ豪雨など、今後ますます災害対策が急がれる。市内の水路・排水路の老朽化対策は。

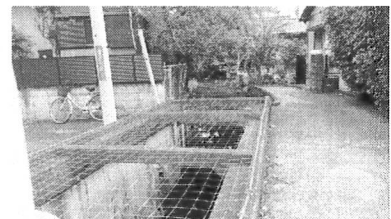
A 現在、本市管理の排水路は100キロあり、随時、補修や水路内の泥さらい・清掃作業を実施しているが、特に中央区などの中心市街地の排水路は老朽化が進み、対策が必要と認識しており、今後、効果的な「排水路の改築更新計画」の策定を進めていく。

Q 祐光・道場北地区を流れる「中溝排水路」が老朽化・環境悪化しており、地域住民から改善の要望がある。安全対策・環境対策を。

A 祐光4丁目～道場北1・2丁目までのフェンスのない区間300メートルに、今年度中に新たにフェンスを設置する。また、環境対策として、水路内の清掃・泥さらいの実施を検討してまいります。



【祐光4丁目】



【道場北1・2丁目】

### 亀井はこう考える！ 地域の皆さんの安心・安全の排水路対策を！

地域住民の方々の要望を受け、地元の中溝排水路の安全対策・環境対策について質問・提案を行いました。市からは、フェンスが設置されていない祐光・道場北の約300メートルの区間に新たにフェンスを設置すること、水路内の環境改善に取り組むことへの答弁がありました。

現在、市内ではゲリラ豪雨対策・浸水対策が進められていますが、限られた財政のなかで、浸水の危険性が高い地区・場所を優先的に整備しています。「中溝排水路」については、地域の方々から地中化や暗渠化の要望があることから、引き続き、地中化・暗渠化についても検討を求めました。

## 動物愛護の推進について

Q 台風15号では、千葉市で初めて「ペット避難所」が設置され、全国でも反響があったが、設置場所の拡充など、さらなる充実を。

A 台風15号では、稲毛海浜公園内の「稲毛記念館」に初めて設置したが、成果があったと考えている。一方、運営での課題もあったことから、今後、獣医師会やボランティアと連携し、さらなる充実に向けていく。

(⇒台風19号では、各区にペット避難所が設置され、拡大を実現できました！)

Q 地域の野良猫を助け、不幸な野良猫の繁殖を減らすことは動物が好きな人・嫌いな人のためにもなる。千葉市も「動物愛護センター」の新設を急ぐべきでないか。

A 市の計画に位置づけ、昨年度から他都市で新設された動物愛護センターの調査を行い、方向性を検討している。市民に開かれたセンターとなるべく、さらなる調査を進め、整備を検討してまいりたい。

Q 市民から多くの寄付を集め、動物愛護施策の充実に成功している自治体もある。動物愛護の推進のための寄付をもっと募るべきではないか。

A 29年度より、「ふるさと応援寄付金」のメニューに「動物愛護の推進」を追加し、昨年度は100万円を超える寄付を受けている。これにより、マイクロチップの読み取り機械2台を更新し、愛護施策充実に努めている。今後も寄付の増加に向けて、周知啓発を強化したい。

Q 地域の不幸な野良猫を減らすため、市動物保護指導センターでもっと不妊去勢手術を行ってはどうか。

A 不妊去勢手術については、飼い主をお願いしたい。

Q 市内でも犬や猫の「多頭飼育崩壊」が起きている。市として早期介入や対応策の強化を。

A 市民やボランティアからの通報により、多頭飼育を把握した場合は訪問・指導をしている。「多頭飼育崩壊」は全国的な課題となっており、国でも対策の検討が始まっている。本市でも早期介入や支援の方策について検討してまいりたい。

Q 多頭飼育問題は、高齢者や福祉の部門との連携が大切だ。連携強化を。

A 動物保護指導センターでの訪問・指導、ボランティアによる新たな飼い主探し、生活困窮者への生活支援など、庁内関係課とさらに連携に努めていく。

Q 「いのちを愛おしむ教育」が大切だ。学校教育における「いのちの教育」「動物介在教育」の推進を。

A 小学校では、2年・6年で動物を介在した「生命を尊重する教育」に取り組むとともに、獣医師会による訪問授業などに取り組んでいる。今後、動物公園における校外学習、動物公園職員による出前授業など、命の大切さについて学ぶ機会を一層充実させてまいりたい。

Q 「動物にやさしいまちは人にもやさしいまち」と考える。日本一の動物愛護先進都市を目指すべく、市民・ボランティアとともに、1日も早く「市動物愛護センター」建設を。

A 新センター建設にあたっては、動物に良好な環境であることはもちろんのこと、市民・ボランティアの目線にたった設備や機能など、さまざまな検討が必要と考える。今後、ボランティアの方々の意見も伺いながら、検討を進めていく。



【センターに収容されている犬たち】

## 亀井はこう考える！ ― 千葉市を日本一の動物愛護先進都市に！

「いのちの問題」として、ライフワークとして継続的に取り組んでいるテーマです。本市の犬・猫の殺処分は、行政とボランティアの皆様の連携・協力のもと、27年度から4年連続殺処分ゼロを継続し、全国からも注目されています。今後、全国ナンバーワンの動物愛護先進都市を目指し、日本の牽引役になるべきと私は考えています。

今回も多くの論点から質問をしましたが、現在、市内では野良猫や野良犬は以前に比べ、確実に減少し続けています。これは市民・ボランティアが保護して、新たな飼い主を見つけたり、自腹で不妊去勢手術を施すことで無秩序な繁殖を防止していることによるものです。私も微力ながら地域で活動しておりますが、皆様のご理解・ご協力により着実に前進していることを実感しています。

一方で、昨今の新たな課題として、「多頭飼育崩壊」問題が市内でも発生しています。不適切な飼い方のため、1軒の家で飼っていた2匹の犬が最終的に111匹になるという多頭飼育崩壊事件も発生しています。多頭飼育は、高齢化・地域での孤立化が進展するなかで全国各地で発生しています。市としての早期介入・支援、福祉分野との連携強化を再度求めました。また、これからを担うこどもたちへの情操教育として、学校教育における「いのちの教育」「動物介在教育」の推進もあらためて求めました。

そうした地域福祉・教育の観点からも、現在、全国各地で新しい「動物愛護センター」が新設されています。充実した施設、設備・機器があることで、不幸な野良猫の減少、新たな飼い主への譲渡促進、動物の治療・不妊手術の推進、多頭飼育問題への早期対応、こどもたちへの教育推進が図られ、「動物が好きな人」「動物が嫌いな人」それぞれのために機能しています。本市でもようやく検討が始まりましたが、1日も早い設置が求められます。今後も議会内外から力を尽くしてまいります。

このほか、①動物虐待の対策強化やマイクロチップの装着義務の推進、②市動物保護指導センターの動物収容棟にエアコンが未設置のために動物や働く人が苦しんでいる問題の改善、③ボランティアとのさらなる連携強化などについて質問・提案を行いました。今後も皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

# 日々精進の記録！ ～写真で見る活動記録～

## 今、全国各地でがんばろう！ 今後も災害対策・復興支援に全力！

台風15号（9月9日）、19号（10月12日）、21号による大雨（10月25日）の発生を受け、市内での巡回活動や復旧支援に努めてまいりました。今後も市内・県内での復興活動に従事してまいります。また、この間、全国でも佐賀県武雄市や長野県長野市での支援活動に取り組んできました。皆様の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。



## これからも子どもたちとともに！ ～市青少年健全育成成功労者表彰～

9月21日、市青少年健全育成成功労者表彰式が行われ、椿森中地区の青少年育成委員会活動に長く取り組んできたことに対して、表彰を賜りました。地域の子どもたちと一緒にいただいた表彰と考えています。これからも地域の子どもたちとともに成長していきたいと思っております。



## 不幸な犬・猫たちの 新しい飼い主さんになってください！

千葉市動物保護指導センターでは、收容された犬・猫たちが新しい飼い主さんを待っています！どうかこの子たちの残りの命を素晴らしいものに

していただけませんか！随時、見学もできます。

お問い合わせは 市動物保護指導センター（稲毛区宮野木町445-1）

☎ 043-258-7817（平日・9時～17時）



## 市政へのご意見は。

TEL/FAX 043-255-8108  
携帯電話 090-3694-4173

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします！お手紙も大歓迎です！

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>  
メール DQG06110@nifty.ne.jp



フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています！ **亀井たくま** でご検索ください！

## 亀井たくま(39歳)、日々修行中です！！

1980（昭和55）年3月生まれ。中央区椿森出身・在住。  
・作草部幼稚園 ・都賀小 ・椿森中  
・市立千葉高 ・早稲田大学政治経済学部  
・早稲田大学大学院公共経営研究科修了。  
2007年市議選で21票差で落選。2011年、2015年当選。  
2018年社会保険労務士試験に合格。2019年、3期目の当選。

### 地域での仕事

- ・千葉市スポーツ推進委員・千葉市青少年相談員
- ・院内小、椿森中地区各種団体役員
- ・椿森3丁目・5丁目地区役員
- ・第4地区（椿森中学校区・東千葉地区）自治会連絡協議会理事

- ・行政書士・社会福祉士
- ・精神保健福祉士・愛玩動物飼養管理士
- ・防災士・ホームヘルパー2級

### 議会での仕事

- ・保健消防委員会副委員長
- ・大都市制度・市制100周年調査特別委員会委員
- ・保健所運営協議会委員

### 趣味

- ・明治～昭和の懐メロ。童謡・唱歌。
- ・好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎、三浦洗一。（地域で演奏・茶話会のボランティアしています）
- ・NPO東海林太郎顕彰会理事（本部・秋田市）

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします！

ワンコインカンパ（1口500円・複数口大歓迎！）にご協力ください。  
郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました！